

感染対策委員会からのトピック

当院では、感染対策推進のために8～9月の期間において、職員から川柳・俳句・ポスターなどの作品を募集しました。実に74点もの作品が集まり、投票によって最優秀賞・優秀賞が決定しました。



現在、全作品を外来入り口や検査室前などに展示しています。クスッと笑えるようなユニークさがあったり、そうそう！と納得してしまったりと、楽しんで見ていただけたらと思います。

また、作品の一部は院内感染対策啓発ポスターとしても掲示しています。ぜひ、ご覧になってください。



新型コロナウイルス感染症についてはまだまだ先が見えない状況ですが、当院では県内での感染拡大に油断しないよう気を引き締めて努めたいと思います。ご来院の皆さまにも、検温や手指消毒のお声掛けをさせていただきますが、引き続きご協力をお願いいたします。



放射線科からのトピックス

2020年(令和2年)11月に最新鋭のX線CT撮影装置を導入しました。

GE社製の装置です。
この装置で検査撮影するときの5つの特徴をご紹介します。

- ①小さな骨折や頭部、からだ全体の不調原因を発見しやすくなりました。
- ②撮影時に息を長く止めなくても検査が受けられます。
- ③放射線の被ばく線量を大幅に減らせます。
- ④撮影台の乗り降りが簡単になりました。
- ⑤検査撮影中はAI(人工知能)が医療スタッフと一緒に安全を見守ります。

三国病院に通院されていない方も、かかりつけの医療機関さまにご相談ください。

X線CT撮影装置の共同利用を提供しております。
どなたでもこの装置で検査を受けて頂くことが可能になります。



column

新型コロナウイルス感染症による県外への往来自粛が続く中、これまで訪れることのなかった県内の名所、スポットへお出かけする機会も増えたのではないのでしょうか。昨年、東尋坊や越前海岸へ綺麗な夕日を見に出掛けることが増えました。理由は「グリーンフラッシュ」と呼ばれる、夕日が沈む際に太陽が数秒だけ緑に見える現象を見るためです。気象条件が揃わないと簡単に見ることはできないようですが、日本海側でも見ることが出来るそうです。「奇跡の光」といわれ、見ると幸せになれると言いうい伝えがあるそうです。まだ遭遇したことはないのですが、コロナ禍で気分が沈みがちな方は、沈む夕日の中に幸せの瞬間を見つけに行かれてはいかがでしょうか。

新型コロナウイルスの終息は見通せない状況ですが、明るい未来を信じ、もうひと踏ん張りしましょう！

シーグリーとは市の鳥カモメ(seagull)と市の花ユリ(lily)を合わせた造語。ユリの花言葉のように純粋・無垢に患者様と向き合います。

令和3年
8月より

通所リハビリテーション開設

- 作業療法
- 理学療法
- 言語療法



1時間での集中ケア

8:30~9:30 9:30~10:30 10:30~11:30

こんな方々にオススメです♪

対象:介護保険をお持ちの方

- ✓ 短時間でリハビリだけを受けたい
- ✓ 退院直後でリハビリを継続したい
- ✓ 体力をつけたい
- ✓ 外出の機会を作りたい
- ✓ 医療保険での外来リハビリが終了になった

ご利用者様募集中!! 見学受付中♪



内科医長あいさつ



内科医長 **宇都宮 一正**

今年8月に三国病院へ、内科医師として入職させて頂いた宇都宮一正と申します。館嶋院長先生はじめ、常勤の先生方、各部門のスタッフの皆様には、あたたかく迎えて頂き本当に感謝しております。

「その年齢で、転職する？」というまわりの方の意見もありましたが、坂井市立三国病院がCOVID-19に積極的に対応されている事を耳にして、自身も参加させて頂いたこうと思え立ち、入職を希望しました。

長年にわたり、腎臓と血液透析に携わり、腎臓内科という視点から一般内科の診療もさせて頂いてまいりました。

昨今、“エビデンス”や“ガイドライン”に基づく医療がトレンドになっていますが、実際に診療した医師や患者さまの感覚や意見が不在のままの医療では、うまく機能しない症例も数多く存在します。(エビデンスやガイドラインを知っておく必要はありますが)では、どうすればよいのか？自分なりに悩んできました。

医師として、当然のことかもしれませんが、今一度、健康な人の臓器の位置や役割、また薬の作用が生体にどのように影響するのか。

つまり解剖学、生理学、薬理学などの基礎医学に立ち戻ることが、重要であるという考えに至りました。

それと同時に、絶え間なく世に排出される、新しい知見や医療技術、新薬をうのみにししないで、病態生理に適合するか吟味するという姿勢が大事であることも痛感してきました。

簡単に言えば、身体や心のどのような異常が健康な臓器の機能障害の原因になっているのかを見極め、最善の治療を選択するという事です。

これをふまえて、わかりやすい言葉で、医療スタッフを含め、地域の患者さま、ご家族さまと同じ目線で、疾病に対する考え方、治療の方向性を共有することができたなら、みなさまが納得できる安全な医療が提供できるのではないかと考え実践しているつもりです。

また、最善を常に模索し続けることも医者者の責務であると思っています。

あたりまえの事をとっても偉そうに書いてしまいましたが、

“絵に描いた餅”

にならないよう頑張りたいと思っています。



註釈 ガイドライン：「指針」
エビデンス：「根拠、証拠」

医療安全委員会 医療安全の取り組み

当院では、安心して安全な医療を受けていただくことができるよう、医療安全管理委員会を設置し、毎月医療安全に向けた検討や現場の安全ラウンドを行っています。委員会の構成員は病院長を始めとする医師、看護部長や看護師長のほか、薬剤師・検査技師・放射線技師・栄養士等から事務スタッフまで全職種が参加しています。

その基本的な考えは、「人間であれば誰でもエラーを犯す」との前提に基づき、医療現場においてミスを起こさない環境を整えるとともに、患者さまの安全を確保し事故を未然に防止するためのシステムづくりをすることです。

具体的な活動としては、日頃の診療や看護などにおける「ヒヤリハット」などを報告し、事故防止につなげることを。医療安全委員会のメンバーが安全な体制になっているかを点検ラウンドすること。医療安全に関する全職員の研修などを行っています。

安全ラウンドの内容を一部紹介いたします。先月の病棟ラウンドでは、「廊下に不要な物がないか」「トイレは整理整頓されているか」など、転倒しやすい環境はない



医療機器・薬剤の調査風景

かの確認。「医療機器の点検はされているか」「薬剤の保管は正しいか」などの、医療機器や薬品管理の点検を行いました。結果は「良好」でした。

今後も、活動を継続し安全な医療の提供に努力して参ります。



安全ラウンド：医師、看護部長が率先して調査しています。

地域医療連携室 レスパイト・社会的入院のご案内

当院では、在宅医療を支えるレスパイト・社会的入院を行っています。

地域で在宅療養されている患者さまやご家族さまを支援させていただいています。

レスパイトには、「一時休止」「休息」「息抜き」という意味があります。

介護者や患者さまが日々の疲れを癒やし、介護力の増幅・増強の一助とする目的で短期間の入院を受け入れています。



例えば、冠婚葬祭、介護者の病気・入院、出産、旅行など一時的に在宅療養が困難になる場合が該当します。

入院期間

通常レスパイト入院は3日～14日間が目安になりますが、社会的入院が必要な場合は、それぞれのご家庭のご都合をお聞きしながら、ご相談に応じます。

ご利用できる方

病状が安定している方で、褥瘡処置・痰吸引・麻薬管理・胃瘻・気管切開・点滴・在宅酸素・人工呼吸器を在宅で使用の方もご利用できます。

退院後は、ご自宅または居住系介護施設等に帰る方が対象になります。

お問い合わせ先

レスパイト入院のお申し込みまたはご相談については、地域医療連携室までお問い合わせください。

坂井市立三国病院 地域医療連携室

電話番号 0776-82-5222 (直通)

FAX番号 0776-82-7050 (直通)